

第62期

中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



お問い合わせ先

パラマウントベッド株式会社 広報・IR部
〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL：(03) 3648-1111 (大代) FAX：(03) 3648-5781
<http://www.paramount.co.jp>



パラマウントベッド株式会社



証券コード：7960

(企業理念)

先進の技術と優しさで、 快適なヘルスケア環境を創造します。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ここに当社第62期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の
事業の概況と決算をご報告いたします。



**当第2四半期連結累計期間の業績は、
どのように評価されていますか。**

まず、売上につきましては、期初予想（214億円）を上回り、前年同期比で11.5%増となりました。利益面につきましても、営業利益、経常利益、四半期純利益がいずれも期初予想を大幅に上回りました。

増収増益の主な要因といたしましては、本年4月に発売した在宅介護用ベッド「楽匠Sシリーズ」の販売好調が挙げられます。在宅介護向けの売上は前年同期に比べベッド販売台数で1.5倍、売上高で1.6倍となりました。

また、売上増及び増産効果による生産効率の向上、昨年に実施した工場再編による売上原価率の改善などが、利益面で大きく寄与いたしました。

なお、通期の業績予想に関しましては、10月29日に上方修正しております。



**在宅介護用ベッド「楽匠Sシリーズ」とは
どのような製品ですか。**

在宅介護市場向けの主力となる製品です。業界で初めて「電動介護用ベッド」で福祉用具JISマーク表示の認証を取得いたしました。福祉用具のJISマーク制度は、「消費生活用製品安全法」の改正により事故情報が顕在化したことを受けて、経済産業省が消費者の安全性・信頼性の向上という考えのもとに異例ともいえる速さで規格を見直し、改定した上でJISマーク表示制度をスタートさせたものです。

製品の特徴といたしましては、JIS規格による安全性に加え、誤操作防止機能など、お客さまの要望に応え、さらなる安全・安心、そして使いやすい機能を充実させたことです。万一の落下時の衝撃を緩和するため、最低時の床高を従来品より5cm低い20cmとするとともに、最高時の床高は従来品より7cm高い65cmとし、介護者の負担軽減に配慮いたしました。



To Our Shareholders

Statement: As Human, for Human



**連結子会社の状況について、
お聞かせください。**

当グループの連結子会社は国内に2社（メンテナンスビジネスを中心に展開するパラテクノ株式会社及び福祉用具レンタル卸業のサンネットワーク株式会社）と海外に生産子会社が3社（インドネシア、中国、フランス）あります。国内の2社につきましては、メンテナンスの市場が底堅いことと在宅介護向け市場が好調であることなどからおおむね順調に推移しております。

海外の各社を取り巻く環境は、昨年の世界的な金融危機以降、非常に厳しい状況が続いています。そのような環境の中でも、パラマウントベッド・インドネシアと八楽夢床業（中国）有限公司におきましては、自国向け販売を強化するなど、地域に根ざした活動の結果、ともに前年同期を上回る利益を計上しております。

一方、フランスのコロナ・メディカル社につきましては、現在事業の再構築を進めており、工場の再編・集約や人員削減などを実施しております。今後は八楽夢床業（中国）有限公司から部品を調達するなどして、組立工場として運営してまいります。



代表取締役社長

木村 恭介

パラマウントベッド「眠りと健康」事業を加速

当社は、これまで医療・介護用ベッドのリーディングカンパニーとしてヘルスケア環境の向上につとめるとともに、蓄積してきた知見を応用して“睡眠”に関するさまざまな研究を進めてきました。その成果は、医療・介護の分野にとどまることなく、さまざまな分野での製品・サービスに幅広く展開しています。ここでは最近の「眠りと健康」事業の取り組みを紹介します。

コンシューマー向けブランドを一新

当社は11月10日、コンシューマー向けのブランドを一新し、新たに「smart sleep（スマートスリープ）」ブランドを立ち上げ、直営店も模様替えしました。

従来から取り組んできました電動アジャスタブルベッド「INTIME」やオーダーメイドマットレス「スタイルポート」に加え、レディメイドマットレス「データムゼロ」や寝返りのしやすい枕「スマートフィットピロー」、竹繊維素材を使用したリネン類「竹布シリーズ」など、より質の高い睡眠を提案できる製品群をそろえました。

このブランドでは、今まで以上に“質の高い睡眠”についてさまざまな角度から考えた製品・サービスを



寝返りのしやすい枕
「スマートフィットピロー」

「データムゼロ」

展開していくことで、お客さまの睡眠をより包括的にサポートし、睡眠環境の向上を目指します。

パラマウントベッド睡眠研究所が発足

「パラマウントベッド睡眠研究所」が10月1日に
 発足しました。当社のこれまでの睡眠に関する研究を
 さらに発展・整理し、よりよい睡眠環境の実現に貢献
 することを目的としています。当社製品である睡眠

管理システム「眠りSCAN」を活用し、さまざまな睡眠評価を実施し、医療・介護分野や「smart sleep」ブランド製品の開発につなげ、“睡眠スペシャリスト企業”としての確固とした位置づけを目指します。

「眠りと健康」事業のwebサイトを充実展開

「眠りと健康」事業では、事業に関連するwebサイトを充実させ、さまざまな情報をわかりやすく紹介したり、オンラインストアを設けるなど、webを効果的に活用しています。

- 「smart sleep library」(眠りの総合情報サイト)

眠りにまつわる話題を随時提供し、眠りの重要性和仕組みについて親しみやすく紹介します。健康から美容・ダイエット、アンチエイジングなど、眠りと関連が深いさまざまな話題についても取上げ“library”（図書館）の名にふさわしい情報の質を目指します。



<http://www.smartsleeplibrary.jp/>

●スマートスリープストア オンライン

従来、直営店や取扱店舗のみの販売であったコンシューマー向け製品のオンラインストアを開設しました。近隣に店舗のないお客さまのための利便性向上とより幅広いお客さまの獲得が目的です。

※一部取扱いのない製品がございます。



<http://www.smartsleepstore.jp/>

- 「眠りSCAN」サイト

当社の睡眠管理システム「眠りSCAN」を紹介するサイトです。また、「眠りSCAN」の測定データを管理・共有するためのwebサービスも提供しています。



<http://www.nemuriscan.com/>

端座位保持テーブル「Sittan (しったん)」を発売



価格：134,400円（税込）

端座位保持テーブル「Sittan (しったん)」を、聖路加看護大学と共同開発し、9月1日に発売しました。

「Sittan (しったん)」は、端座位が正しくとれるよう、支えとなる背面ユニットを備えたサポート用具です。正しい座位姿勢を保持するだけでなく、座位姿勢で行う作業療法や食事などの生活動作がしやすくなるなど、現場での使用方法にも配慮されています。

2008年4月より、聖路加看護大学と共同で開発を進めてきた「“起きる”看護ケアプログラム」の中で、端座位のサポートを担う用具として開発されました。

ベッドサイドのリハビリをサポートする新たな製品として、急性期医療から在宅ケアまで、幅広い市場での活用が見込まれます。

透析・化学療法向けチェア「L'za (エルザ)」を発売



価格：498,750～714,000円（税込）

省スペース設計とベッド並みの快適空間を同時に実現した、透析・化学療法向けチェア「L'za (エルザ)」を、8月7日に発売しました。

当社従来品に比べ、12～23%コンパクト化を実現し、同じ部屋面積でも多くのチェアを設置することが可能となりました。限られたスペースでより多くのご利用者を受け入れることができるため、医療機関にとっては収益向上につながります。

一方、シート形状を工夫し、シートの有効面積が約15%広くなりました。血液透析や抗がん治療など、内容によっては30分から時には6時間以上かかる治療時にも快適に過ごしていただけるよう、ご利用者の満足度アップに貢献します。

2009年度グッドデザイン賞 受賞 一般病室向けハイスペックベッド「KA-6000シリーズ」

一般病室向けハイスペックベッド「KA-6000シリーズ」が、2009年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

グッドデザイン賞とは、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する日本で唯一の総合的なデザイン評価制度です。単なる見た目の美しさを競うのではなく、デザインを通じて私たちの生活をより豊かなものに導くものであるかという観点で選ばれます。

「医療向けベッドは、さまざまな治療に対応が必要で、多機種になり、形状が複雑になりがちである。機能を整理し、一つの機種でまかなえ、かつシンプルなデザインにまとめている」という点で審査員から評価されました。



KA-6000シリーズ

台湾デザインエキスポ2009に出展 (TAIWAN DESIGN EXPO '09)

台湾のデザイン展示会「台湾デザインエキスポ2009 (TAIWAN DESIGN EXPO '09、会期：2009年10月2日～18日、場所：台中市)」に、ユニバーサルデザインの先進国である日本のメーカーとして、トヨタ自動車や日本航空、ヤンマーなどの企業とともに選ばれ、今回初めて参加しました。

シンポジウムにおいては、新生児ベッドのデザインプロセスを例に、「医療・介護分野の製品開発における優しさの実践」についてプレゼンテーションを行いました。

来場者は17日間で約44万5千人。一般市民をはじめ、台湾デザインセンター及び日本企業参加メーカーとのデザイン交流を行い、今後のユニバーサルデザインの方向性を探りました。

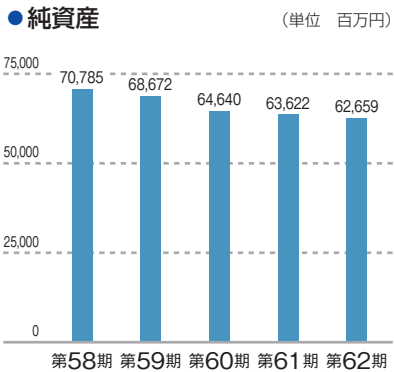
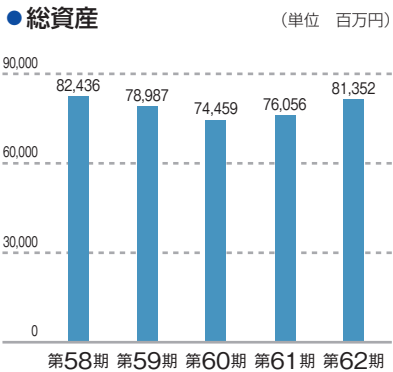
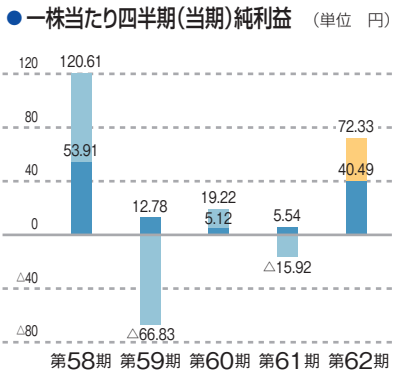
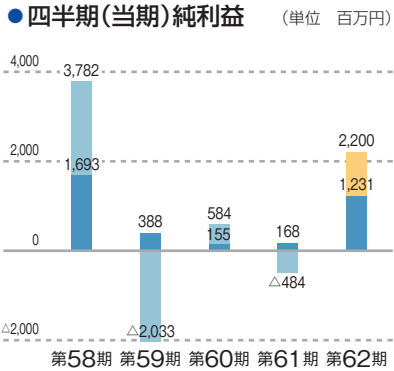
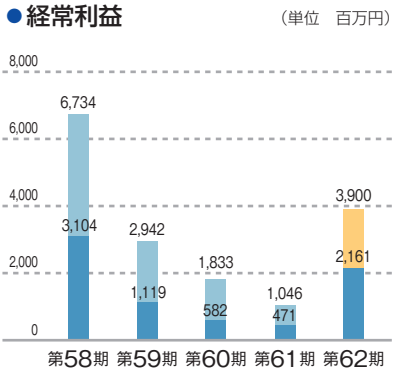
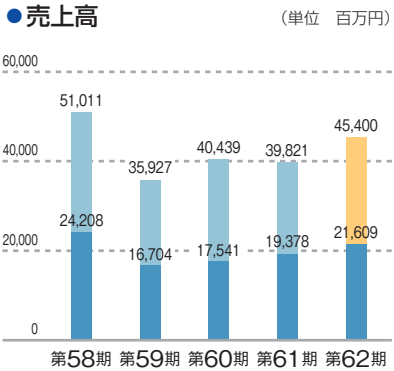


Financial Highlights

(単位 百万円)

科 目	期 別	第58期 第2四半期連結累計 (平成17年9月30日)	第59期 第2四半期連結累計 (平成18年9月30日)	第60期 第2四半期連結累計 (平成19年9月30日)	第61期 第2四半期連結累計 (平成20年9月30日)	第62期 第2四半期連結累計 (平成21年9月30日)
売上高		24,208	16,704	17,541	19,378	21,609
経常利益		3,104	1,119	582	471	2,161
四半期純利益		1,693	388	155	168	1,231
一株当たり四半期純利益 (円)		53.91	12.78	5.12	5.54	40.49
総資産		82,436	78,987	74,459	76,056	81,352
純資産		70,785	68,672	64,640	63,622	62,659

注) 連結ベースの数値で表示しております。



■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期見込

Outline of Operating Results

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善などを背景に持ち直しの動きがみられるとの観測があるものの、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。

当医療・介護業界につきましては、新政権のマニフェストに「社会保障費2,200億円の削減撤回」や「医師養成数を1.5倍に増加」、「地域医療を守る医療機関を維持」、「良質な介護を可能とするマンパワーの充実」、「介護サービス基盤の充実」など、社会保障及び医療制度を安定させる方針が掲げられていることから、明るい兆しが見えてきましたが、まだスタートしたばかりで、実行に移されるのはほとんどが来年度以降になるものと思われる。

このような国内の事業環境の中で、施設向け販売は、医療施設・高齢者施設ともに厳しい状況が続き、ほぼ前年同期並みの水準で推移しました。一方、ここ数年堅調に推移している在宅向け販売は、4月に発売した新製品「楽匠Sシリーズ」の販売が好調に推移し、業績に寄与しました。

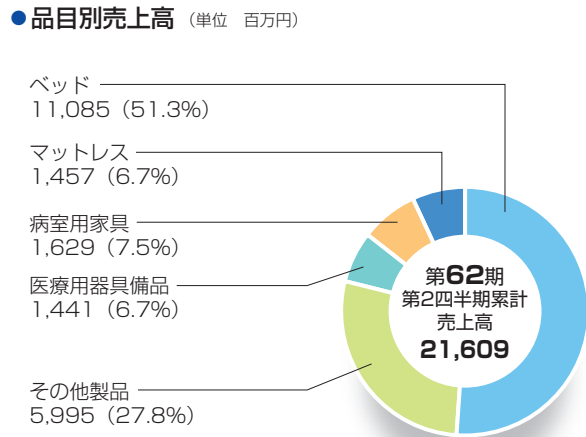
生産・開発面におきましては、上記の「楽匠Sシリーズ」のほか、就寝中の睡眠と覚醒のリズムを測定する睡眠管理システム「眠りSCAN」、透析・化学療法向けチェア

「L'za (エルザ)」などを発売いたしました。

連結子会社につきましては、おおむね前期並みに推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高216億9百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益21億31百万円（同376.2%増）、経常利益21億61百万円（同358.6%増）、四半期純利益12億31百万円（同631.4%増）となりました。

品目別売上高については、下記グラフのとおりです。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	
		金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
流動資産		39,259	48.3	38,793	48.6
現金及び預金		17,543		14,728	
受取手形及び売掛金		10,300		11,949	
有価証券		4,592		4,576	
たな卸資産		4,045		4,998	
その他		2,776		2,540	
固定資産		42,093	51.7	41,096	51.4
有形固定資産		26,019		25,600	
無形固定資産		2,553		2,666	
投資その他の資産		13,520		12,830	
資産合計		81,352	100.0	79,889	100.0
流動負債		10,486	12.9	10,914	13.7
買掛金		3,975		5,090	
その他		6,510		5,824	
固定負債		8,207	10.1	7,184	9.0
負債合計		18,693	23.0	18,099	22.7
株主資本		62,775	77.2	62,000	77.6
資本金		6,591	8.1	6,591	8.2
資本剰余金		7,276	9.0	7,276	9.1
利益剰余金		52,447	64.5	51,671	64.7
自己株式		△3,540	△4.4	△3,539	△4.4
評価・換算差額等		△302	△0.4	△373	△0.5
その他有価証券評価差額金		△165	△0.2	△330	△0.4
為替換算調整勘定		△136	△0.2	△42	△0.1
新株予約権		12	0.0	—	—
少数株主持分		173	0.2	163	0.2
純資産合計		62,659	77.0	61,790	77.3
負債純資産合計		81,352	100.0	79,889	100.0

POINT

受取手形及び売掛金

当社グループの業績には季節変動があり、毎年第4四半期の売上が最もウエイトが高くなる関係上、前連結会計年度末時点の残高が大きくなっております。

POINT

新株予約権

当社は、平成21年6月開催の定時株主総会及び取締役会の決議に基づき、平成21年7月17日付でストックオプションを付与しました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)		前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	
		金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)
売上高		21,609	100.0	19,378	100.0
売上原価		12,883	59.6	12,369	63.8
売上総利益		8,726	40.4	7,009	36.2
販売費及び一般管理費		6,595	30.5	6,561	33.9
営業利益		2,131	9.9	447	2.3
営業外収益		250	1.1	206	1.0
営業外費用		220	1.0	183	0.9
経常利益		2,161	10.0	471	2.4
特別利益		2	0.0	149	0.8
特別損失		24	0.1	191	1.0
税金等調整前四半期純利益		2,139	9.9	428	2.2
法人税、住民税及び事業税		1,204	5.6	483	2.5
法人税等調整額		△335	△1.6	△257	△1.3
少数株主利益		37	0.2	34	0.1
四半期純利益		1,231	5.7	168	0.9

1

POINT

売上高

売上高は、前年同期比11.5%増加いたしました。増収増益の主な要因といたしましては、本年4月に発売した在宅介護用ベッド「楽匠Sシリーズ」の好調な販売が挙げられます。在宅介護向けの売上は前年同期に比べベッド販売台数で1.5倍、売上高で1.6倍となりました。

2

POINT

營業利益／經常利益

営業利益及び経常利益は、売上高の増加のほか、原価率の改善や販管費の削減により、それぞれ前年同期比376.2%、358.6%と、大きく増加いたしました。

3

POINT

四半期純利益

四半期純利益は、税金等調整前四半期純利益の増加に伴い法人税が増加したものの、特別損失が大幅に減少したため、前年同期比631.4%と大きく増加いたしました。

Consolidated Financial Statements

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位 百万円)

科 目	期 別	当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
1 営業活動によるキャッシュ・フロー		4,554	2,974
2 投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,558	984
財務活動によるキャッシュ・フロー		△614	△291
現金及び現金同等物に係る換算差額		△66	5
現金及び現金同等物の増加額		1,316	3,672
現金及び現金同等物の期首残高		17,227	13,403
3 現金及び現金同等物の四半期末残高		18,543	17,076

POINT

営業活動による
キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間は、業績が順調に推移した結果、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ、大幅なプラスとなりました。

POINT

投資活動による
キャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券及び投資有価証券への支出の増加により、前年同期に比べ大幅なマイナスとなりました。

POINT

現金及び現金同等物の
四半期末残高

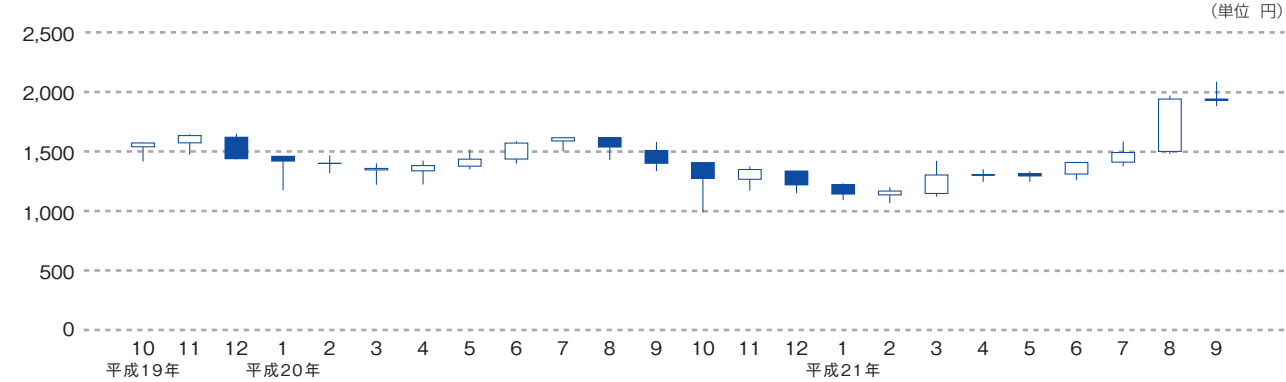
当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から1,316百万円増加し、18,543百万円となりました。

- 発行可能株式総数 126,000,000株
- 発行済株式の総数 31,682,526株
- 株主数 15,673名
- 大株主

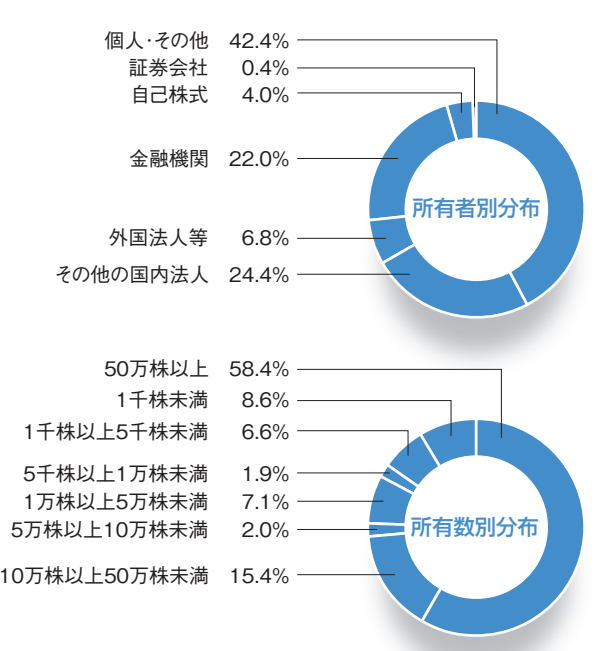
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
木村興産株式会社	6,607	21.8
木村憲司	2,758	9.1
木村恭介	2,136	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,554	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,507	5.0
木村通秀	1,418	4.7
株式会社みずほ銀行	1,203	4.0
財団法人木村看護教育振興財団	450	1.5
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	450	1.5
アールピーシー デクシア インベスター サービスズ トラスト、ロンドン クライアント アカウント	402	1.3

(注) 1. 当社は自己株式1,266千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. トレードウィンズ・グローバル・インベスターズ・エルエルシーから、平成21年7月6日付の大量保有に関する変更報告書の写しの送付があり、平成21年6月30日現在で1,259千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期累計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

●株価チャート

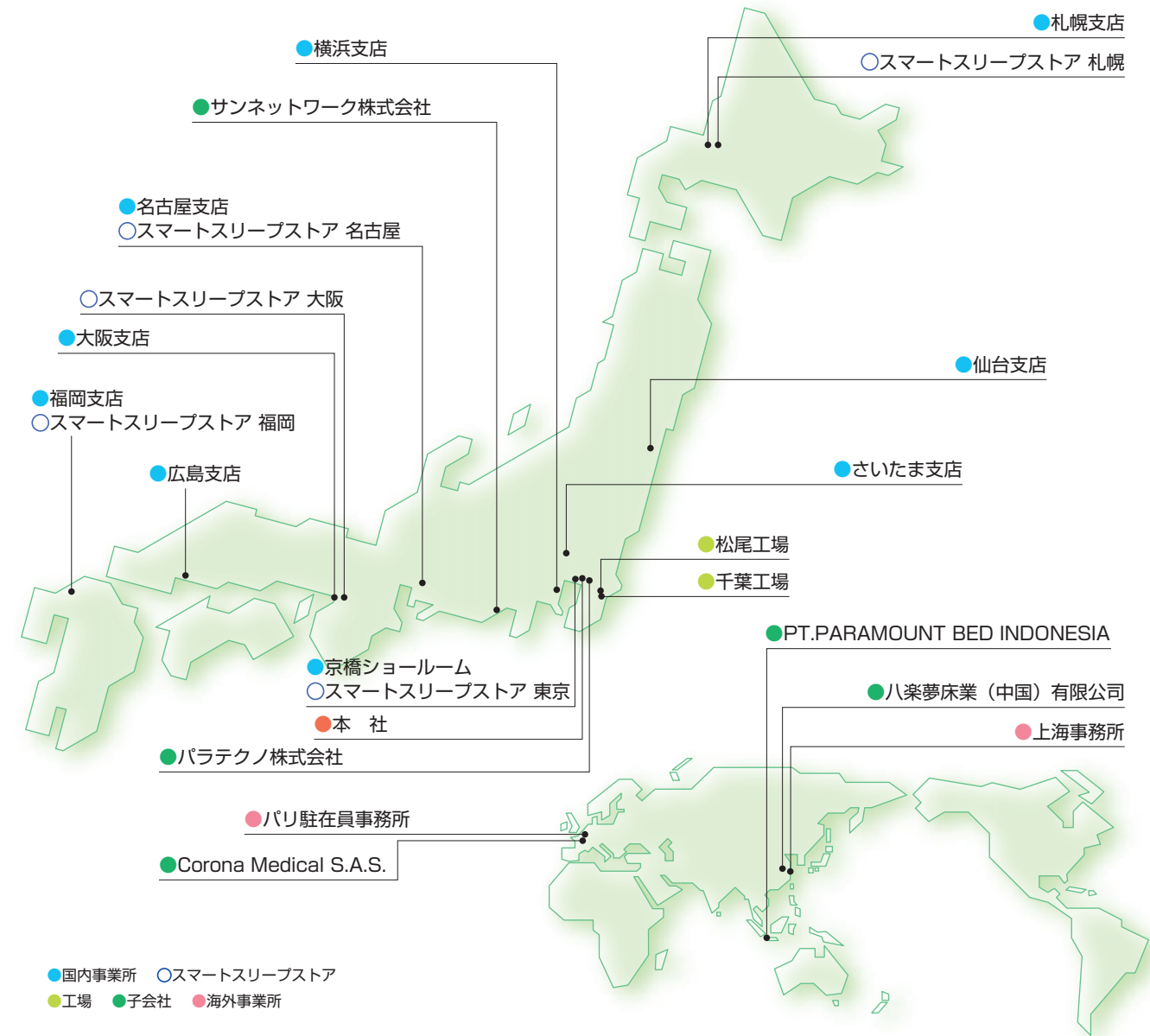


●株式の分布状況





事業所・子会社一覧



Network



会社概要 (平成21年9月30日現在)

商号 パラマウントベッド株式会社
本社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL：(03) 3648-1111 (大代)
設立 1950年5月
資本金 65億9,132万円
従業員数 842名
事業内容 ●医療用ベッド及びマットレス並びに病室用家具
など病棟看護製品の製造及び販売
●在宅介護用ベッド及びマットレスの製造及び販売

●役員

代表取締役会長 木村 憲司
代表取締役社長 木村 恭介
専務取締役 木村 通秀
常務取締役 堀内 俊雄
取締役 加藤 忠治
取締役 坂本 郁夫
取締役 前 哲夫
常勤監査役 古谷 泰信
常勤監査役 庫本 康
監査役 池上 悦次
監査役 岡 ゆかり

【表紙模写 作者】

パラマウントベッド株式会社
技術本部設計部 柳原 健

私が腰痛治療で日頃お世話になっている場面を題材にしました。
看護師さんはやさしいのですが、いつもマスクをしているため未だに顔を覚えられません。

Corporate Data

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。但し、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階) 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階) 東京証券代行株式会社 本店 (お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎ 0120-49-7009

- 住所変更・単元未満株式の買取のお申出先について
お取引口座のある証券会社にお申し出ください。但し、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払について
当社株主名簿管理人である東京証券代行株式会社及び中央三井信託銀行株式会社の本店で承ります。
- 上場株式配当等の支払に関する通知書について
租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金については、株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様には、平成21年中にお支払いした配当金に係る「支払通知書」を本年末または来年初にご送付いたしますので、ご承知おください。口座振込を指定されている株主様には、ご送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。